



小田原 平塚・修善寺・柏久保証教会だより

2023年11月1日発行 第254号

КРЕСТЪ クレスト

2023年11月号

司祭 ディミトリイ 田中 仁一

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1

TEL/FAX : 0465-22-2792 携帯:070-5079-3408

E-mail: holyspiritodawara@gmail.com

教団 HP: <http://www.orthodoxjapan.jp/>

小田原正教会 HP: <http://odawara-orthodox.com/>

郵便振替口座(小田原): 00270-6-15226

ねっしん 熱心なる語たれぬ轉達者、
かた てんたつしゃ
けんこ 堅固にして耻を得ざる憑恃、
はじ え たのみ
なんじ 爾に趨り附く者の為に
はし つ もの ため
かき みなと 垣と湊なる潔き永貞童女よ、
いさぎよ えいていどうじよ
しよてんし 諸天使と偕に爾の子及び
とも なんじ こおよ
かみ せかい 神に世界に平安と救と
へいあん すくい
おおい 大なる憐とを賜わんことを
あわれみ たま
いの たま 祈り給え。



カザンの生神女のイコン

カザンとはタートルスタン共和国の首都の名前である。小さなハリストスが生神女の頬の横で立っているようなスタイルのこのイコンの原画はコンスタンティノープル(現在ノイスタンブル)から来たが、1438年になくなってしまった。ところが1579年、大火に見舞われたカザンの民家の瓦礫の下にこのイコンが隠されていると、マトロナという名の少女にお告げがあり発掘した。イコンはタートル人から護るために隠されていたのだ。結局1904年にこの原画は盗賊によって破壊されたとみられている。現在その複製はヤロスラバルとサンクトペテルブルクの聖堂に安置されている。このイコンを記念するのは7月21日と11月4日である。

●五旬祭後第 22 主日聖体礼儀(第 5 調)・こども成長感謝祈禱 / 執事会
11月5日(日) 10:00~ (9:30 痛悔)

使徒経:ガラティヤ 6:11-18 福音経:ルカ 16:19-31

●五旬祭後第 24 主日聖体礼儀(第 7 調)・月例パニヒダ
11月19日(日) 10:00~ (9:30 痛悔)

使徒経:エフェス 2:14-22 福音経:ルカ 8:41-56

カザンの生神女聖像祭 早課より

正教会にようこそ 33

聖フェリシティ教会のイコスタシスは一段しかありませんが、教会によっては天井に届くほど高さのあるイコスタシスもあります。段が重なると、聖書に登場する預言者たちの列や、十二大祭がずらりと並ぶ列、他にも中央のキリストの方を向いて祈っている聖人たちの列などを見ることができます。特に、中央のキリストの左右に洗礼者ヨハネ/前駆授洗イオアンと生神女マリア、彼らに続いて聖人が並んで祈る列はデイスと呼ばれています。

イコスタシスには両脇に扉もあります。この聖フェリシティ教会では聖フェリシティと前駆授洗イオアンのそれぞれ隣になりますが、左側の扉には天使ミカエル/ミハイルのイコン、右側の扉には天使ガブリエルのイコンがはめられています。この扉は「天使の扉」と呼ばれ、聖職者が中央の王門を使うのに対して、司祭の祝福を得た一般の奉仕者は、この扉から至聖所と聖所を出入りします。至聖所の中は、聖務にあたる人以外立ち入り禁止です。ゴミ捨てや掃除機がけですら立ち入ることができる人にしかできません。

イコスタスにあるそれぞれのイコンの前には赤いガラスのランプがぶら下がっています。このランプはランパーダと呼ばれ、オリーブ油の上に、コルクで浮いている芯があり、それに火を灯します。(日本の多くの教会ではローソクを使用しています。)自然の火を使うことに実践的な目的がありますが、最近では電球に換えている教会も増えています。

イコスタスの前には左右にそれぞれ真鍮製の大きな燭台が立っています。燭台はローソクがたくさん立てられるようになっています。信者が教会に入ると、まず啓蒙所の入口にあるイコンに敬拝し、そのままローソクを手にイコスタシスのハリストスのイコンに向かって拝し、続いて生神女に拝します。それはちょうど、晩餐会に招かれてそのお宅に入ると、まず主催者にご挨拶をし、次にそのお母様にご挨拶をするような感じです。イコンの前で黙祷してから、手にローソクがあればその近くにある燭台にローソクを点灯します。ハリストスと生神女マリアのイコンの前には花が飾ってあります。(至聖所の中には花類は一切置きません。あとで覗いて見てみましょう。)

【2023年11月】小田原/平塚・修善寺/柏久保・横浜教会月間活動予定表

日	曜日	祈禱・行事・集会	主日・調・聖書の読み
1	水	[東京]	11/5 五旬祭後第22主日 第5調 使徒経:ガラ 6:11-18 福音経:ルカ16:19-31
2	木	[東京]	
3	金	[Y 横浜] 私祈禱(10:30 横浜外人墓地) <small>文化の日</small>	
4	土	[O小田原] 主日前晩禱(17:00)	
5	日	[O小田原] †主日聖体礼儀(10:00)・こども成長感謝祈禱・執事会 [Y 横浜] 主日代式祈禱(10:00)	
6	月		11/12 五旬祭後第23主日 第6調 使徒経:エフェ 2:4-10 福音経:ルカ8:26-39
7	火	[東京]	
8	水	[東京]	
9	木	[東京]	
10	金	[小田原]	
11	土	[K 柏久保] †主日聖体礼儀(10:00)・墓地祈禱(湯ヶ島地区) [Y 横浜] 主日前晩禱(17:00)	
12	日	[S修善寺] †主日聖体礼儀(10:00)・墓地祈禱(修善寺地区) [Y 横浜] †主日聖体礼儀・月例パニヒダ(10:00)・聖歌練習	
13	月		11/19 五旬祭後第24主日 第7調 使徒経:エフェ 2:14-22 福音経:ルカ 8:41-56
14	火	[東京]	
15	水	[東京]	
16	木	[東京]	
17	金	[小田原]	
18	土	[O小田原] 主日晚課(17:00)	
19	日	[O小田原] †主日聖体礼儀・月例パニヒダ(10:00) [Y 横浜] 主日代式祈禱(10:00)	
20	月		11/26 五旬祭後第25主日 第8調 使徒経:エフェ 4:1-6 福音経:ルカ 10:25-37
21	火	[東京]	
22	水	[東京]	
23	木	[東京 教会代表者会議] <small>勤労感謝の日</small>	
24	金	[横浜:執事会]	
25	土	[Y 横浜] 祭日前晩禱(17:00)	
26	日	[O 小田原] 主日代式祈禱(10:00)・駐車場清掃 [Y 横浜] †主日聖体礼儀・執事会(10:00)	
27	月		
28	火	[東京]	
29	水	[東京]	
30	木	[東京]	

[]内は司祭または教区の活動。 † means where Divine Liturgy is held. K O S Y are initials of each parishes.

聖体礼儀に参拝し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう

*ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。

セラフィム府主教着座式 フォトレポート

2023年10月22日(日) 東京復活大聖堂

9時30分、穏やかな秋空の下の東京復活大聖堂の鐘楼から鐘が鳴りはじめ、日本正教会の神品と信徒が迎える中、ロシア正教会総主教キリール座下の代理として来日したヴォロコラムスクの府主教アントニイ座下とセラフィム座下が並んで入堂しました。聖体礼儀の途中で、宗務総局長マルコ小池神父様より、先の臨時公会においてセラフィム大主教座下を次期府主教に選出することが満場一致で決議されたこと、それを母教会であるロシア正教会が承認したことが会衆に報告されました。聖体礼儀はその後、着座に関わる儀式とともに進行しました。聖体礼儀後、アントニイ府主教座下がキリール総主教聖下の祝辞を代読し、「アクシオス」の高声とともに純白のクロブクが贈られました。それに対し、セラフィム府主教座下がお礼を述べました。続いて神品を代表して宗務総局長マルコ小池神父様より、また信徒を代表してペトル須永兄(東京復活大聖堂教会執事長)が祝辞を述べました。セラフィム府主教座下は次のようなお言葉を述べました。「日本正教会は、戦前戦後、様々な困難を乗り越えて現在に至りました。現在は、高齢化とコロナからの立ち直りのところにあります。これからは世代交代の時代を迎えますが、私たちは聖ニコライから受け取った信仰を次世代に引き継ぐことをやめずに進みましょう。」着座式を無事に終えたところで如水会館に場所を変え、祝賀会が行われました。



アントニイ府主教座下と着座式を控えたセラフィム府主教座下が並んで入堂



宗務総局長マルコ小池司祭の決議を報告する宗務総局長マルコ小池司祭





東京の大主教および全日本の府主教セラフィム



「アクション・オス」という声の中、白のクロブクを頭に被る府主教セラフィム座下



←府主教を示す水色のマンティアを着るアントニイ・セラフィム両座下と贈呈されたミトラ



聖体礼儀後、参拝者全員で記念写真



祝賀会の様子